

特集・第三十回 夏の大会

8月20日(土)・21日(日)／東京吉祥寺・成蹊大学

「大会テーマ」**「アクティブ・ラーニング」を生かした**

あたらしい「読み」の授業

——「学習集団」「探究型」を重視して質の高い国語力を身につける

今回の入門講座では、小2の教材「わたしはおねえさん」を使って構造よみと形象よみを、中2の教材「走れメロス」を使って吟味よみを模擬授業風に行う予定です。
楽しく、しかも力のつく授業のあり方について、参加者の皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

読み研通信』読者の皆さん、こんにちは！

オリンピック、イチロー選手メジャー通算三〇〇〇本安打達成と、話題に事欠かない今年の夏です。

そして「読み」の授業研究会第三十回 夏の大会も、いよいよあと十日と迫ってきました。

記念すべき三十回めの夏の大会のテーマは、やはり「アクティブ・ラーニング」を生かしたあたらしい「読み」の授業です。

今の教育界におけるキーワードでもあるアクティブ・ラーニングを採り入れた授業を読み研らしくしっかりとわかりやすく提案していきます。

8月20日(土) *受付は10時～です

10時30分～12時

特別入門講座

やさしくわかりやすい物語・小説の授業づくり

——教材「わたしはおねえさん」(小2)、

「走れメロス」(中2)を使って

熊谷 尚(秋田大学教育文化学部付属小)

物語・小説の授業で、子どもたちにどうい

う「国語力」を身に付けさせればよいのでし

ようか。

そのことを曖昧にしたまま、ただ子どもた

ちが楽しく学習していればよしとする雰囲気

が現場にはいまだにあるような気がします。

そうではなく、作品を楽しく豊かに読みな

がら、その過程で子ども一人一人が確かな「読

む力」を身に付けること、そしてそれを使い

ながら、子ども自身が新しい文章や作品を読

んでいけるようにすること、それを目指した

国語の授業づくりをしていかなければなりま

せん。

13時～13時20分

開会ミニ講座

本大会で「アクティブ・ラーニング」をどのように

追究し解明していくのか

加藤 郁夫(読み研事務局長)

この大会の基調となる方向性がここではっ

きりと示されます。

13時30分～14時50分

ワークショップ的分科会1

——物語・小説の授業で「アクティブ・ラー

ニング」を最大限に生かす

1. 物語・小説の「全体構造」を読む力をつける

「アクティブ・ラーニング」の授業

——教材「きつぎの商売」(小3)を使って

永橋 和行(京都・立命館小学校)

この分科会では、まず物語・小説の全体

の構造を読み取ることによって、どんな力

が身につくのかということ明らかにしま

す。

二 次に、物語・小説の構造を読み取る方法（構造読みの方法）を具体的に提案します。当日は模擬授業的な学習形態を取り入れて、参加者の皆さんと体験的に学び合いたいと思います。

三 さらに、「話し合い・学び合いによって、読みを深める」という観点で「アクティブラーニング」の指導についても具体的に提案します。それは、今まで私たちが大切に実践してきた、「学習集団」の指導です。これも模擬授業の中で、具体的に体験していただくと思っています。

2. 物語・小説の「形象・表現技法」を読む力をつめる「アクティブラーニング」の授業

——教材「一つの花」(小4)と「カレーライス」(小6)を使って

鈴野 高志(茨城・茗溪学園中学校) 国語の授業での、特に物語や小説の主題に迫るような深い読みの段階になると、私たち教師はつい、いわゆる「できる子」の発言に頼って授業を進行してしまいがちです。しかしそれでは「読み」が子どもたちみんなのものにはなっていないと思います。

この分科会では、「アクティブラーニング」の形態を採り入れることによって、授業での「読み」が子どもたちみんなのものとなり、またより多くの子どもたちが読む力をつけていく、そんな授業を提案するつもりです。

個人の読みがグループの読みに、そしてク

ラス全体の読みになって深まっていくような過程を体験していただけたら、と考えています。

3. 物語・小説を「吟味・評価」する力をつける「アクティブラーニング」の授業

——教材「山梨」(小9)と「少年の日の思い出」(中1)を使って

加藤 郁夫(読み研・事務局長) 物語・小説の吟味を「比較」をキーワードに考えていきます。

物語・小説の吟味は、なぜ必要なのでしょう。か？また、どのような力をつけていけばよいのでしょうか？

小学校教材での吟味を考えた上で、講座では「少年の日の思い出」(H・ヘッセ)を使って考えていきます。

4. 古典・伝統的言語文化を読む力をつける「アクティブラーニング」の授業

——教材「徒然草」「高名の木登り」と「枕草子」「うつくしきもの」を使って

大庭 珠枝(秋田大学教育文化学部附属小) 「『小学校でも古典の学習を』と言われるから数年経つけれど、教科書の教材を音読すること以外にどんな学習を取り入れたらいいのか悩んでしまう」「古典は教えることが中心になるので、『アクティブラーニング』を生かした授業にはなりにくいのでは？」本講座では、こんなお悩みや疑問をおもちの先生方と一緒に、古典の

授業づくりの方法を考えていきたいと思っています。

ポイントとは、古典の授業を通して国語の力を付けることと、その結果、「古典は面白い」と感じる子どもが増えること。

そんな授業づくりのヒントとなるよう、小学校での実践例のビデオをご覧いただいたり、模擬授業を通して子どもたちの思考の流れを体験していただいたりします。

校種を越えて語り合いながら、古典の授業づくりの可能性を広げてみませんか。ご参加、お待ちしております。

5. 中学校の文学の授業で「アクティブラーニング」を生かす

——教材「字のない葉書」(中1)と「形」(中2)を使って

竹田 博雄(大阪・高槻中学校) 文学的文章において、人物や筆者の心情を読んでいくことは、とても難しい営みだと思います。絞り込んでいくことの大変さは、どの先生方もご経験のことだと推察いたします。難しい営みですが、本文を根拠に合理的に迫っていくことで、その面白さも増していくと思います。

短い時間ですが、みなさんと一緒に、心に迫る楽しさ、面白さを共有できればと思っています。

15時10分～16時50分

記念講演と対談

「アクティブ・ラーニング」を生かすための6つの秘訣

講師 阿部 昇
対談者 加藤 郁夫

読み研の代表である阿部先生の、具体例満載でわかりやすい講演と、加藤先生との問答形式による対談を、どうぞお聞き逃しなく！

17時10分～18時30分

教材研究を極めるための講座

A. 「お手紙(A・ローベル)」「(小2)と「スイミー(L・レオニ)(小2)の教材研究を極める

庄司 伸子(秋田・鷹巣南小学校)

物語文の授業で「分かった」のある授業を(したいと思ったとき、私は読み研の「構造よみ」「形象よみ」「吟味よみ」の方法で一番すっきりした思いを味わいました。子どもたちが「分かった」気持ちを味わうためには、子どもたち以上に教師自身が読みを深める必要があると思います。教師も「構造よみ」「形象よみ」「吟味よみ」を事前しておくことがすなわち教材研究になるのではないかという視点で「スイミー」の提案をします。そして参加くださったみなさんといっしょに、「お手紙」の教材研究をしてみたいと思っています。

B. 「モチモチの木(斎藤隆介)」「(小3)の教材研究を極める

奥富 浩(埼玉・竹間沢小学校)

「モチモチの木」の教材分析を極めます。特に、子どもたち自身が「読みの指標」を持つことができるようになる、そんな授業を目指した教材分析を考えていきます。ご参加、お待ちしております。

C. 「大造じいさんとガン(椋鳩十)」「(小5)の教材研究を極める

臺野 芳孝(千葉・北貝塚小学校)

「大造じいさんとガン」の教材分析をしながら、先生方の読む力が引き上げられたら、と考えています。

先生方の力をアップさせることによって、授業がより充実したものになります。ぜひ、ふるってご参加ください。

D. 「故郷(魯迅)」「(中3)の教材研究を極める

町田 雅弘(茨城・茗溪学園中学高校)

本講座は、読み研が提案している読みの方で分析した「故郷」の教材研究を提案するとともに、教材研究(中学校教材)をする際のポイントをお示しすることを目的と考えております。

教材研究をする時に我々教員が注意を払うのは、どのような点にあるでしょうか。きっと様々な考えられますが、次のような事項はきつとどなたも意識するところではないかと考えます。①分析内容に客観性・妥当性がある

こと、②分析内容の根拠が明確であり生徒が納得しやすいこと、③分析内容を導き出す方法がシンプルでその方法を使って生徒自身が分析することが可能となること。

「読み研」が提案している小説における読解方法「構造よみ」「形象よみ」「吟味よみ」は、教員の教材分析にも有効であるか否か考えてみましょう。

授業ではどのように展開されていくか、部分部分をワークシヨップ的に進めていきますので、夏休み明けすぐにも授業かすることができま

E. 「ころ(夏目漱石)」「(高校)の教材研究を極める

建石 哲男(神奈川・川崎総合科学高校)

夏目漱石「ころ」は高等学校現代文の定番教材ですが、長編小説であるために教科書によって、掲載部分が異なるという扱いにくい部分もあります。

また、ともすると「三角関係で恋に破れたKが失恋の悲しみのあまり自殺する」そんな話として生徒は読みがちです。

また、教材が長いためにクラスの状況によってはなかなか生徒の興味が続きにくいという問題もあります。

教材分析の入門講座として、どのような箇所をどのように読めばよいのか、またどんなテーマでどうやったら高校生でも話し合いが成立するのかなど、一緒に考えていきます。

18時45分～20時15分

懇親会があります。
一日目、フルに頭を使ってちょっと疲れたところで、癒しの一杯はいかがですか？
参加者どうして楽しく情報交換をする中で、またひとつ新たな「収穫」があるかもしれません！ぜひご参加ください！

8月21日（日）

9時～10時20分

ワークショップ的分科会2

——説明的文章の授業で「アクティブ・ラーニング」を最大限に生かす

1. 説明的文章の「全体構成」を読む力をつける

「アクティブ・ラーニング」の授業

——教材「おにごっこ」（小2）と「すがたをかえる大豆」（小3）を使って

加藤 辰雄（愛知県立大学・非常勤）
説明的文章の「全体構成」をつかむ授業では、「はじめ」「なか」「おわり」に分ける作業を行います。その際、大切なことがあります。一つは、どんな「問い」がどこにあるのか、それについてどのように「答え」を具体的に述べているのか、さらにどのように「まとめ」

ているのかをつかむことです。

もう一つは、この読みとりを一人で行うのではなく、子ども相互が検討し合い、論議し合い、試行錯誤しながら、文章の「全体構成」を明らかにすることです。

分科会では、「すがたをかえる大豆」（小3）の模擬授業をおして、これらのことを学び合います。

2. 説明的文章の「論理関係」を読む力をつける

「アクティブ・ラーニング」の授業

——教材「ありの行列」（小3）と「くらしの中の和と洋」（小4）を使って

柳田 良雄（千葉・六実小学校）

本分科会では小学校三年生教材の「ありの行列」と四年生教材「くらしの中の和と洋」を使い、論理関係の読解を学びます。討論の仕方がわからない、子ども達が発言しない、そもそもどうやって討論の授業を組み立てればいいのか？ そのような悩みを抱えている方はぜひおこしください。具体的な手立てをたくさん紹介いたします。私自身、現在小学三年生の担任で、一学期に「ありの行列」の授業を行いました。子どもたちの実際のノート（コピー）なども示しながら、生産的で学力定着につながるアクティブ・ラーニングの授業づくりを提案します。休み明けからの授業が待ち遠しくなるような学びにしますので、よろしく願います。

3. 説明的文章を「吟味・批判」する力をつける

「アクティブ・ラーニング」の授業

——教材「動物の体と気候」（小5）と「モアイは語る」（中2）を使って

熊添 由紀子（福岡・黒木中学校）

本分科会では、説明的文章を「吟味・批判」する力をつける「アクティブ・ラーニング」の授業を取り上げます。

まず前半は「動物の体と気候」を使って、「吟味よみ」の方法について演習を入れながら解説をします。後半は、「モアイは語る―地球の未来」の「吟味よみ」を参加者のみなさんと模擬授業風にやってみたいと考えています。

「吟味よみ」は「構成・構造よみ」「論理よみ」の次の指導過程であり、文章を吟味し評価し批判していくというこの過程があつてこそ、子どもたちは本当の意味で主体的な読みができるといえます。

「説明的文章の『吟味よみ』をやってみたいがどうしていいかわからない。」「『吟味よみ』をする意義は何か。」等、疑問や悩みをお持ちの先生方、また、「自分はこんな方法で教えている」と実践をお持ちの先生方、ぜひ本分科会においてください。

9月からの実践にすぐに役立つ内容です。多くの先生方の参加をお待ちしています。



4. やさしくわかりやすい説明的文章「説明文・論説文」の授業づくり・入門
―教材「こまを楽しむ」(小3)と「生き物は円柱形」(小5)を使って

高橋 喜代治 (立教大学)

「説明的文章(説明文・論説文)はどのようにやって教えるの?何を教えるの?」

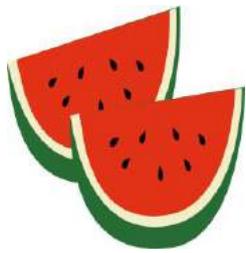
先生方のこんな悩みや疑問をよく聞きます。子どもたちからも「説明文の勉強はおもしろくない」という声を聞かえてきます。

読み研では長い間、この説明的文章指導の研究と実践に取り組んできました。それが「構造よみ↓論理よみ↓吟味よみ」の指導過程とその授業づくりです。

構造よみでは何をどんなふうに取り取るのか?論理よみではどんなふう論理をつかむのか、吟味よみでは?

その方法が分かると、子どもたちは自分の力で文章が読めるようになります。それは自ら課題を設定し、協働して追究的に学習するアクティブ・ラーニングそのものです。

読み研は初めて、あるいはよく分からないという参加者といっしょに学び合いたいと思います。



10時40分〜12時50分

全体模擬授業

「アクティブ・ラーニング」
を生かした「海の命」(立
松和平)の授業

授業者 阿部 昇

全体模擬授業では、小6の物語「海の命」(立松和平)の山場の「読み」の授業をお見せします。

長く教科書に掲載されてきた優れた教材でありながら、「海の命」のモデルとなるような授業を私はこれまで見たことがありません。

作品全体を見通しながら「クライマックス」に仕掛けられた「謎」を読み解いていきます。それも、今話題の「アクティブ・ラーニング」を最大限に生かした「読み」の授業を展開します。

夏の大会ご参加、まだ間に合います!!

◆夏の大会 お申込み【郵便振替】

郵便番号・住所・氏名・所属(学校名)を明記の上、下記の口座に参加費7000円(懇親会参加の場合は2500円プラス)を振り込んでください。懇親会参加の場合はその旨を明記してください。

*住所・お名前は楷書でお書きください。判読できないと参加証がお送りできません。

*ATMで振込をされると振り込み料金が50円安くなります。

郵便振替 口座番号 00950-9-24065

加入者名 読み研

☆直前にお申し込みされた方は、念のため振込の控えをお持ちくださると助かります。